



安全・安心をお届けいたします

## グリーンプロジェクト情報 第3号

きらきら Eyeランド  
JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

# 今年の春は平年より高温傾向！ 適切な温度管理で健苗育成！！

いよいよ播種時期となりました。作業機械の整備、点検には万全を期し、90%以上の芽切れを十分確認してから行いましょう。また、作業従事者全員で品種や手順を確認してから作業を行いましょう。

仙台管区气象台の1か月予報（4月1日発表）では、4月の天気は数日の周期で変わり、向こう1か月間の気温は平年並み～高いと予想されています。温度管理を徹底し、高温障害には十分注意しましょう。

### 技、其の一 上手な催芽は健苗づくりの基本です

- ① 催芽温度は30～32℃とし、芽の長さは均一なハト胸状態とします。
- ② 発芽を促進するため催芽時に“活水”（100倍液）の使用を推奨します。
- ③ 必ず90%以上の芽切れになったことを確認してから播種作業に入りましょう。



### ばか苗病の対策

- 育苗培土や苗床に籾殻や生焼けのくん炭を使用しないで下さい。また、稲ワラや籾殻を育苗施設周辺に放置しないで下さい。（腐熟が不十分な堆肥を含む。）
- マルチは適期（目安：草丈2.5cm）に除去し、長くかけすぎないように注意して下さい。
- 各生育ステージの最適温度を順守し、高温管理とならないようにして下さい。

### 技、其の二 適正な播種量と育苗マットの注意点

極端な厚播きは軟弱苗の原因となるので、下表を順守し健苗づくりに努めましょう。

1箱当り播種量の基準

|    | 目標葉齢     | 育苗日数   | 乾燥籾重     | 催芽籾重     | 催芽容量     |
|----|----------|--------|----------|----------|----------|
| 稚苗 | 2.2～2.5葉 | 22～25日 | 150～170g | 180～200g | 1.6～1.8合 |

### ※育苗マット使用上の注意点

- ・育苗マットの場合は、播種機の灌水パイプを1～2本増設し、マットにたっぷり灌水して下さい。（目安として2割/箱）
- ・「こめパワーマット」・「エースマット」は、白い面（肥料の塗ってある面）が表（おもて）となりますのでご注意ください。
- ・覆土は、根上がりに注意し、**1.2～1.4kg**を目安に厚くなりすぎないようにして下さい。また、通気性、透水性を損なわない粒子の粗めのものをご使用下さい。
- ・覆土の持ち上がりを抑えるために、転圧ローラーをご使用下さい。
- ・昼夜の温度差が大きいと、障害が発生しやすくなるので日中の高温に注意して下さい。

### 技、其の三 出芽時の最適温度は 32℃厳守

出芽温度が32℃を超えると高温障害が起きやすいだけでなく、徒長苗・ばか苗病発生の原因となり、苗の仕上がりに影響します。また、新たにビニール（屋根）を張り替えた場合、温度が上がりやすいため出芽時の温度管理には細心の注意を払いましょう。※適切な温度管理の為に**必ず温度計を床土に挿して測りましょう。**

### ○出芽不良の場合

出芽不良の場合は、“活水”の50倍液を箱当たり100～200ml施用して下さい。3日おきに2～3回が目安です。（特別栽培米も使用可能ですが、化学合成N成分使用量0.01kg/10aがカウントされます。）

### ○被覆資材の種類と取り扱いに注意

#### 『遮光資材（ダイオシート）』

マルチ下の高温に注意し、朝夕の日差しの強いときや、日中高温の時間帯はハウス全体を被覆し、高温障害を防止しましょう。

#### 『シルバー被覆資材（ふあふあSL-60等）』

**は種直後の育苗開始時期に高温障害の発生が多いので高温対策に努めましょう。**

- ① ホットンカバーやラブシートを併用し、マルチの上にベタがけする。
- ② 高温になりそうな好天日は、早めの換気操作でハウス内の温度上昇を防ぎましょう。

### 技、其の四 地力・品種に合わせた本田基肥設計

地力の高い土壌では、施肥にそれほど頼らなくても、十分な生育量を得ることが出来ます。良食味米生産のために、地力・品種に合わせた適正な基肥量を施用しましょう。

地力別品種別基肥量の目安

（窒素成分：kg/10a）

| 品 種      | 地 力     |        |         |          |
|----------|---------|--------|---------|----------|
|          | 高い ←    |        |         | → 低い     |
|          | 細粒強グライ土 | 細粒グライ土 | 中粗粒グライ土 | 中粗粒灰色低地土 |
| はえぬき・雪若丸 | 3.5     | 4.0    | 5.0     | 6.0      |
| ひとめぼれ    | 3.0     | 3.5    | 4.0     | 5.0      |
| つや姫      | 3.0     | 3.0    | 3.5     | 4.0      |

乾土効果を高めるために**耕起は早めに実施しましょう。**（裏面へ続く）

**つや姫・雪若丸情報コーナー**

**○土づくりを積極的にしましょう。**  
土壌のpHの低下、ケイ酸不足が確認されています。堆肥や土壌改良資材を積極的に投入し、気象変動に負けない稲作にしましょう。

**○播種の準備をしましょう。**  
催芽は32℃1～2日を目安に、芽の長さ1mm程度（ハト胸状態）で揃った催芽のみを播種しましょう。（播種前に必ず確認）  
**雪若丸は千粒重が大きいので、必ず播種量を確認してから播種作業を行いましょう。**

- 堆肥を毎年散布している圃場では、基肥窒素量を基準より0.5～1.0kg/10a程度減肥して対応しましょう。
- 大豆等からの復田初年目は「はえぬき」で対応し、基肥窒素はゼロとしますが生育量を見ながら追肥で対応しましょう。
- 耕うん時はスピードを落として、15cmの耕深を確保しましょう。

**技、其の五 直播栽培のポイント**

≪鉄コーティング湛水直播栽培≫ **播種時期の目安:4月下旬～5月上旬**

- **播種時、播種後の水管理と適正苗立ち数の確保**  
代かき後2～3日間程度圃場を落ち着かせてから播種しましょう。播種時の目安は、ゴルフボールを1mの高さから落として半分埋まる程度の固さに調整しましょう。  
播種同時または播種直後に除草剤を散布した場合は、**除草剤の効果を安定させるため7日間湛水**しましょう。その後圃場が過度に乾かない程度に5日程度落水し、**出芽を促進**させましょう。



鉄コーティング湛水直播栽培

適正苗立ち数80～100本/m<sup>2</sup>の確保に努めましょう。

≪乾田V溝直播栽培≫ **播種時期の目安:4月上旬～下旬**

- **乾田V溝直播栽培**  
播種の遅れが発芽の遅れとなり、生育不足につながるため、播種作業は4月中に完了させましょう。**極端な乾燥状態が続く場合は一時的にフラッシング（灌水）**を行い、早期の苗立ち確保に努めましょう。



不耕起V溝直播栽培

○ **除草剤の散布**

- ①出芽前除草剤（ラウンドアップマックスロード等）の散布は、周辺圃場の代かき前までに散布しましょう。
  - ※飼料用米での出芽前除草剤散布は『草枯らしMIC』です。
  - ②ヒエ5葉期以前で、圃場に入水する5日位前、イネの葉齢で1.5葉期（5月下旬～6月上旬）を目安にクリンチャーバスME液剤等を散布します。
- 直播栽培で使用できる除草剤は限られています。使用時期・使用方法等を確認して適切に使用し、効果的な除草に努めましょう。また、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意して下さい。

☆ **直播栽培ごよみ作成しました！**

水稻直播の栽培ごよみを作成しました。鉄コーティング直播と乾田V溝直播の2種類です。生育ステージごとの留意点をわかりやすく記載しました。各営農課指導員にお問合せ下さい。また、JA庄内みどりのホームページ (<http://midorinet.or.jp>) にも掲載していますのでご覧ください。

**水田の排水状況を確認し、明渠の手直しがある場合は排水口とをスムーズにつなぐ等の作業を行いましょう。また、サフノイラーにより、水田の乾燥を促しましょう。**



＝特別栽培米の方々へ＝

**特別栽培米は計画した資材を計画通りに使用することが求められます。**

使用の際は資材名を確認し、定められた使用量・使用時期を必ず守りましょう。尚、栽培基準（ガイドライン）以外の資材を使用した場合、一般米扱いとなります。安易に自己判断することなく、最寄りの営農課へご確認願います。

**播種・育苗期間中における注意事項**

育苗期間中、混乱が生じないように**特別栽培米である目印や、品種名等が誰でも分かるように表示**するなどの工夫をしましょう。

- ・ **注意** 本田畦畔及び周辺に除草剤は使用できません。  
（田植え前の散布でも使用できません）  
隣接農家と相互理解をはかりましょう。

○ **トラクター等による農作業事故を防ぎましょう！**

農作業事故が最も多い季節です！安全第一でお願いします。  
4/10～6/10は「春季農作業事故防止運動強化期間」です。

○ **農薬は適正に使用しましょう！**

①適用作物 ②使用量・希釈倍率 ③使用時期 ④総使用回数 ①～④を必ず守りましょう。

○ **栽培履歴は必ず記帳しましょう！**

- **トラクターでの作業終了後は、圃場で土・泥を落としてから公道を走行するようにしましょう。**（毎年JAに苦情が寄せられています。）また、法令順守のもと必要な表示・標識の確認を行ないましょう。

☆ **育苗ハウスで野菜を作付される方へ！**

ポジティブリスト制度施行後に、育苗箱からこぼれた箱施用薬剤や薬剤処理後の灌水で農薬の成分が土壌に残り、後作の野菜が吸収し検出された事例があります。  
箱施用薬剤は、ハウス内での施用は避け、田植え前に圃場で散布しましょう。また、箱施用剤を床土混和した場合も、後作で野菜の栽培をしないでください。詳しくは、JA園芸課又は、各園芸センターへお問い合わせください。

**農薬の飛散（ドリフト）防止対策**

- 風の弱いときに風向きに注意して散布
- 散布の距離や方向に注意
- 適切なノズルを用いて適正な圧力で散布
- 適正な散布量で散布